

令和6年9月 斐伊川水系水質情報

令和6年9月(宍道湖13日・中海5日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	5.2	△	平 年 並 み	4.6	☆	かなり高い	6.6	×	やや高い
全窒素	上層	0.46	△	平 年 並 み	0.43	△	平 年 並 み	0.48	△	平 年 並 み
全リン	上層	0.074	×	やや高い	0.055	×	やや高い	0.075	△	平 年 並 み
Chl-a	上層	19	△	平 年 並 み	8.3	△	平 年 並 み	26	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	2,750	△	平 年 並 み	7,780	△	平 年 並 み	8,350	△	平 年 並 み
	下層	3,040	△	平 年 並 み	16,000	△	平 年 並 み	10,200	△	平 年 並 み
溶存酸素	上層	8.8		やや低い	9.0		平 年 並 み	11.9		平 年 並 み
	下層	7.4		平 年 並 み	1.3		やや低い	9.6		平 年 並 み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項 目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	5.0	横ばい	3.6	上昇	5.9	やや上昇
全窒素	上層	0.43	横ばい	0.34	やや上昇	0.38	横ばい
全リン	上層	0.075	横ばい	0.055	横ばい	0.077	横ばい

宍道湖の透明度は先月と同様に1.6mと横ばいで、平年並み。中海の透明度は2.8mから2.6m横ばいで、平年並み。米子湾の透明度は1.7mから2.1mとやや上昇し、平年並みとなっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化.....
 上昇、下降
 注) 平均値±標準偏差値全体のおよそ68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化...
 やや上昇、やや下降、横ばい
 平均値±標準偏差値の2倍...全体のおよそ95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化...
 横ばい
 平均値±標準偏差値の3倍...全体のおよそ99.7%